

令和 8 年度施政方針

(令和 8 年第 2 回川島町議会定例会)

令和 8 年 3 月 4 日

川 島 町

それでは、議長のお許しをいただきましたので、本定例会においてご審議いただきます諸議案の説明に先立ちまして、令和8年度の町政経営に関する基本的な考えを申し述べさせていただきます。

(はじめに)

はじめに、2月に行われました衆議院議員総選挙では、国民一人ひとりの願いが込められた貴重な一票が投じられ、今後の日本の進むべき方向が示されました。私たち地方行政もまた、国政の動向と密接に連携しながら、町民の皆様の期待にお応えすべく、まちづくりを進めていく所存です。

少子高齢化による人口減少といった構造的な課題に加え、防災対策の強化、老朽化した施設の修繕、廃校の資産活用など、多岐にわたる課題に対し、先を見据え、少しでも前に進めるよう、具体的な行動へと移してまいります。

また、長引く物価高騰は、依然として私たちの暮らしや地域経済に大きな影響を与えており、喫緊の課題となっております。こうした中、いち早く、おこめ券の配布をし、また、子育て応援手当への上乗せ支給、新たな命を授かった方への10万円の出産支援金、そして、水道基本料金の1年間減免など、町民の皆様への支援を行ってまいりました。

これまで町は、令和3年に策定した「第6次川島町総合振興計画」に基づき、さまざまな施策を展開してまいりましたが、本計画の「前期基本計画」が今年度で終了するため、令和8年度より後期基本計画がスタートします。令和8年度も、スピード感を持って失敗を恐れず、「第6次川島町総合振興計画 後期基本計画」に掲げた各種施策・事業を行ってまいります。

(まもる)

近年増加する自然災害や著しい社会情勢の変化の中、町民の皆様の安全・安心な暮らしを守るため、災害への備え、福祉支援制度や社会生活基盤の整備に取り組んでまいります。また、持続可能な社会の実現を目指し、今ある資源を有効に循環するための体制整備も進めてまいります。

まず、桶川市とのごみ処理広域化ですが、2033年(令和15年)の新ごみ処理施設稼働に向け、川島桶川資源循環組合に対し、施設整備基本計画の作成や搬入道路の設計等にかかる負担金を支出いたします。また、ごみ処理施設の老朽

化対策や災害時への備えとして、可燃ごみの一部焼却処分を民間に委託し、ごみ処理の安定化を図ります。

水道事業では、生活インフラの環境整備として、令和8年度から10年度にかけて、吹塚浄水場施設の更新に向け、機械設備棟を整備し、災害時に安定的な水の供給ができるようにいたします。

道路整備事業では、引き続き道路の除草及び街路樹等の管理に取り組み、道路の環境美化を推進してまいります。令和8年度より道路環境美化専任部隊の配置、川の広場においてヤギによる除草を試験的に実施いたします。

また、主要地方道日高川島線の整備は、物件補償や用地買収を積極的に行い、一日も早い完成を目指し、道路の安全性の確保及び利便性の向上を図ってまいります。

福祉事業では、住み慣れた町で穏やかに暮らしていけるよう、高齢者に対する個別的支援（ハイリスクアプローチ）として、低栄養のリスクが高い方に対して、管理栄養士が訪問面談による栄養指導を実施し、フレイル予防に取り組みます。

さらに、障がい者福祉の充実として、手話奉仕員養成研修及び手話体験講座を開催いたします。手話を使う方が住みよい町となるよう、聴覚障がいや手話に対する理解及び普及に取り組みます。

また、2026年（令和8年）は、四方を川に囲まれた川島町をイメージした「平成の森公園」がオープンして30年を迎えます。現在、民間活力の導入を検討しており、令和8年度は大学と連携しながらサウンディング調査を行い、指定管理者等の選定に向けた準備を進めます。

このほか、特定外来生物の対策として捕獲に係る報奨金制度の試行的導入事業、老朽化した公共施設の整備として、中山小学校屋上等防水事業、西中学校校舎照明器具LED化事業、旧伊草公民館旧館解体及びウエストきずなトイレ改修に向けた設計業務などを行ってまいります。

（つなぐ）

昨年、新たな地域づくりの拠点施設である、地域活動センターが開設して間もなく1年が経とうとしています。地域コミュニティは、生活の基盤で、災害時などの安全・安心の確保において重要な役割を担っており、地域活動センタ

一及びまちづくり協議会を運営するための予算を、令和8年度も引き続き計上いたしました。

また、地域で行われるコミュニティ活動や防犯活動、自治会による活動や集会所の修繕・整備等にかかる費用の一部も、引き続き助成してまいります。

そのほか、新しい自治体地域コミュニケーションの推進事業といたしまして、「川島未来塾」の活動支援、町内在住外国人に対する支援事業などを進めてまいります。

ふるさと納税につきましては、更なる寄付額の増加を目指して、町内事業者と連携して新たな商品の開発等に取り組み、町の特産品の認知度の向上、地域の活性化を図ってまいります。

(つくる)

川島町における産業振興は、基幹産業である農業と、川島インターチェンジを有する立地優位性を活かした周辺地区開発による企業誘致など、多角化が進んでおります。地域資源を最大限に活かしたプロモーションを展開し、雇用の創出、地域経済の活性化を図ってまいります。

川島インターチェンジ南側地区においては、産業拠点の創出に向けた新市街地の整備を推進するため、市街化区域編入等に必要な各種手続き及びトップセールスによる企業誘致を進めてまいります。

農業分野では、農業法人設立に伴う費用に補助金を交付する「農業法人設立支援事業」を新規に立ち上げます。そのほか、スマート農業を実践しようとする農業者の支援である「次世代農業推進事業」、新規就農者が自立した農業経営ができるよう支援する「新規就農総合支援事業」も引き続き進めてまいります。

また、町外の多くの方に川島町を知っていただき、好きになっていただけるよう、公民連携による町のPRを実施してまいります。

令和8年度は、るるぶ特別編集冊子「川島町」の更新作成、明治大学との共同研究で作成したグルメマップの活用を実施してまいります。また、地域商社さまちかの地域活性化に寄与する事業実施に支援を行います。さらには、カーフェスティバルやランタン祭などのイベントを通じて、交流人口の拡大を図ってまいります。

(そだてる)

近年、グローバル化や情報化などにより、従来の価値観にこだわらず、新しい視点で対応することができる人材（財）が求められる時代になってきています。

未来へはばたく人材（財）、社会を生き抜く人材（財）をそだてるため、教育・学習機会の充実・子育てしやすいまちづくりを進めてまいります。

教育分野では、小中一貫教育を進めており、学校・保護者・地域の皆様の意見を取り入れながら、引き続き小中連携・交流・研究を実施してまいります。

まずは、児童生徒の学力向上を目指して体系的な学習支援を行います。令和8年度より、英語教育充実のため、小学校に配置するALTの人数を1名増員し、1校1名体制とします。

また、学校の創意工夫により実施する事業に対し、「川島町学力向上研究事業補助金」を新たに創設いたします。

さらに、不登校にならないよう支援する「校内教育支援センター支援員」を新たに配置し、子どもたち一人ひとりに対応した、きめ細やかな学習の充実を実施してまいります。

子育て分野では、令和8年度から新たに5歳児健診を実施いたします。お子さんが家庭や保育園などで不安を感じていることに早い段階で気づき、適切な支援をすることで、集団生活に適応する力を身に着けることができます。就学に向けての不安を軽減できるよう支援してまいります。

また、現在の一時保育事業に加え、令和8年度より、こども誰でも通園制度を開始し、すべての子育て家庭に対して、支援を強化してまいります。年齢が近い子どもとのかかわりを通じて、お子さんの成長発達の促進を図るとともに、保護者の方の育児不安の解消、育児負担の軽減を図ります。

さらには、出産に対する支援及び時代を担う子どもの誕生を祝うため、お子さん1人あたり10万円を給付する「出産支援金（祝い金）給付事業」を実施いたします。

そのほか、公立保育園の統合に向け、令和8年度から令和9年度にかけて、けやき保育園の大規模改修工事を行ってまいります。

以上、第6次川島町総合振興計画の戦略目標（「まもる」「つなぐ」「つくる」

「そだてる」) ごとに、主要となる施策及び事業を申し上げました。

財政状況は厳しさを増しております。限りある財源を有効に活用するため、引き続き、事務事業の効率化に取り組み、持続可能な財政運営に努めてまいります。

(むすびに)

私が町長に就任させていただき、9か月あまりが経過いたしました。皆様からお寄せいただきました信頼と期待にお応えすべく、「株式会社 川島町」として、大きなビジネスチャンスを逃すことの無いよう、まちづくりを進めてまいりました。

現在、インターチェンジ南側地区の開発は順調に進んでおり、近隣には宿泊施設の建設を予定しています。また、鳥羽井沼には、グランピング施設がまもなくオープンいたします。川島町を知っていただく大きなチャンスと期待しております。

令和8年度は「第6次川島町総合振興計画 後期基本計画」に基づく新たなまちづくりがスタートいたします。

より良いまちづくりを進めるため、令和8年度から組織の見直しを行い、まち整備課の新たなグループとして「公民連携推進室」を設置いたします。川島インターチェンジ南側地区の開発、平成の森公園や廃校施設等の町の地域資源の活用を目指し、多様な資源と知見を持つ民間企業やNPO等との協働に積極的に取り組み、公民連携による魅力的なまちづくりを推進してまいります。

川島町に関わる全ての方々に愛着と誇りを持っていただき、「ここが好き、やっぱり好き」と思ってもらえるよう、職員一丸となり、町民の皆様の立場に立った町政を進めてまいります。

町民の皆様並びに議員各位におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げ、令和8年度の町政経営に対する施政方針といたします。

令和8年3月4日

川島町長 藤間 隆